



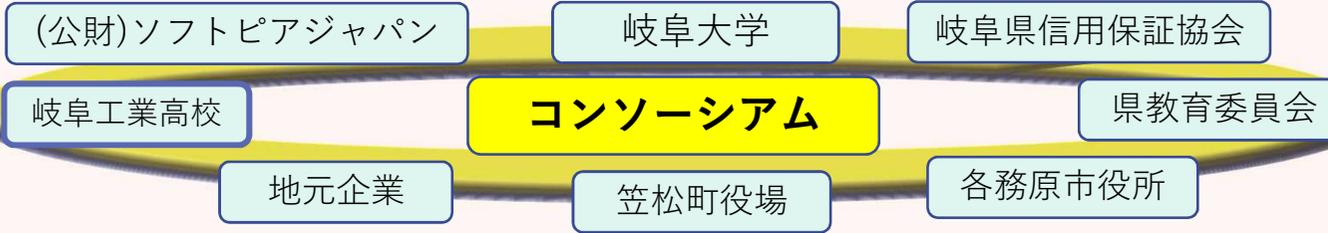
地域資源を核とした地域産業の未来の扉を拓くテクノロジストの育成

背景

人口減少（流出）・少子高齢化が進む今後、特に県内の製造業や建設業における人手不足や、地域の衰退は深刻化することが想定されることから、地域の活力づくりや地域の産業振興を担う人材の育成が課題である。

地域との協働

コンソーシアムの役割は、地域産業におけるニーズと学校教育内容の共有により社会から求められる力を明確にし、地域課題の共有や企業連携に関する調整等、企業・自治体と本校をつなぐ中間組織体として活動を推進する。



課題

地域産業の担い手不足

地域の活性化

地域の防災・災害時対応

研究プログラム

令和元年度の目標

取組状況

地域産業を担うテクノロジストの育成

地域産業界から求められる資質・能力に基づいた、IoT・AI等を活用した生産性の向上及び、地元産業を担い発展に寄与できる人材の育成

- ①地元産業・企業発見②地域産業人材育成

- ア 「オール岐阜・企業フェス」への参加
- イ 航空機製造の一連工程実習実施
- ウ 金型製造の一連工程実習実施
- エ 小型マイコンボードを用いた自動運転シミュレーション実習等の実施
- オ BIMを活用した図面作成実習実施

地域を愛するテクノロジストの育成

地域の魅力発信や新たなビジネスモデルを探求し、魅力あるビジネスを構築できる人材を育成

- ①地域理解と魅力発信
- ②新たなビジネスモデル提案
- ③地域貢献

- ア 地域活性化に向けたアクションプランの設定
- イ 観光MAP等作成の為に広告美術仕上げ講義の実施
- ウ ふるさと納税返礼品プロトタイプの実施
- エ 岐阜工テクノLAB主体による地域貢献

地域を守るテクノロジストの育成

地域の防災における課題を探求するとともに、ものづくり・工業技術を通して課題解決に向けた、災害に強い安心・安全な街づくりを提案できる人材の育成

- ①防災・減災
- ②災害時対策

- ア ドローンとセンシング技術の融合にさせ校舎の3Dデータ取得する研究の実施
- イ 原水の水質向上の為に実践的学習実施
- ウ ソーラー発電の研究を基に振動発電研究の開始

成果

- ① 地域の各産業界から求められた専門分野における工業技術を理解することができ、そのために必要な工具等を正しく使用する技術を身に付ける等により、関連する技術を身に付けることができた。
- ② 従来の方法にとらわれず、地域資源の有効活用や学科横断的な学習等から新しい視点による発想ができるようになった。
- ③ 地域の方とのコミュニティに参加し、防災・減災等の課題に向き合い、自分達が学校で学んだ工業技術等を持ち寄り、地域を守ろうとする想いをもち、それに向けてグループで行動することができるようになった。

課題

社会的な課題解決に向けて「求められる技術は何なのか」等の探究する観点から、「社会貢献活動」をさらに充実させ、SNSによる地域魅力発信をタイムリーかつ積極的に実施する。